

「障がいのある人もない人も
共に暮らし続ける地域を目指して！！」

目 次

発刊にあたって

岩手県地域総合研究所 理事長 井上 博夫
「くらし・福祉」調査研究部会事務局 村山 繁 1

I 第1回公開講座（2020年3月23日開催）

テーマ 「障害者福祉、その歴史と制度、現状と課題（1）」
講師 社会福祉法人岩手更生会理事長 細田 重憲 4

II 第2回公開講座（2020年7月27日開催）

テーマ 「障害者福祉、その歴史と制度、現状と課題（2）」
講師 社会福祉法人岩手更生会理事長 細田 重憲 31

III 第3回公開講座（2020年9月29日開催）

テーマ 「障がい者福祉、当事者、関係者の思いと訴え」
挨拶
コーディネーター
社会福祉法人岩手更生会理事長 細田 重憲 63
報告者 「重度障がい者が地域で暮らせる社会づくりを目指して」
CIL もりおか代表 川畑 昌子 64
報告者 「重症心身障がい児（者）の親として、地域に生きる当事
者の思いや願い」
岩手県重症心身障がい児（者）を守る会副会長
藤村 ゆみ子 72
報告者 「障がい者福祉について～共生社会の実現を目指して」
盛岡市保健福祉部障がい福祉課課長補佐
大森 勉 86

質疑応答

コーディネーター
社会福祉法人岩手更生会理事長 細田 重憲 99

IV 第4回公開講座（2021年5月24日開催）

テーマ 「知的・精神・発達障がい者への支援について考えます」

挨拶

コーディネーター

社会福祉法人岩手更生会理事長 細田 重憲 104

報告者 「知的障がい者への就労支援、地域生活支援について考え
ます」

社会福祉法人岩手更生会障害者支援施設緑生園

業務課長 玉山 恵理子 106

報告者 「精神の障がいがあっても、当事者もその家族もあきらめ
ることなく、自分の人生を生きることができます」

社会福祉法人みやま会障害福祉サービス事業所

みやまサービス管理者 山下 純子 114

報告者 「精神の障がいのあるないよりも、困り感に目を向けて支
援を考えていきます」

盛岡市基幹相談支援センター所長

工藤 宏行 124

質疑応答

コーディネーター

社会福祉法人岩手更生会前理事長 細田 重憲 134

講師 3人への意見・質問・感想及びその回答 137

V 第5回公開講座（2021年7月5日開催）

テーマ 「障害者福祉、これまでの振り返りと残した課題」

講師

社会福祉法人岩手更生会前理事長

細田 重憲 144

会場報告者 岩手県社会保障推進協議会事務局次長

高橋 貴志子 156

会場報告者 盛岡生活と健康を守る会事務局次長

市沢 節子 160

質疑応答

講師

社会福祉法人岩手更生会前理事長

細田 重憲 162

ブックレット

「障がいのある人もない人も

共に暮らし続ける地域を目指して！！」の発刊にあたって

岩手地域総合研究所 理事長 井上 博夫
「くらし・福祉」調査研究部会事務局 村山 繁

2016年7月26日未明に、神奈川県相模原市の障害者入居施設「津久井やまゆり園」で起きた障がい者殺人事件は、国民全体に大きなショックを与えました。岩手地域総合研究所が設置している「くらし・福祉」調査研究部会のなかでも、怒りや悲しみの思いがあふれ、二度とあってはならないことであると一致しました。そしてさらに話し合ううちに、果たして私たちは障がい児（者）のことをどこまで分かっているのだろうかとの思いに至りました。

そこで、「くらし・福祉」調査研究部会が、調査研究の一環として「障がい児（者）福祉をめぐる現状と課題等」をテーマとし、このことについて広く市民、関係者との共通理解を深め、住み慣れた地域で共に生きるための一助とすることを目的として、当研究会の理事で社会福祉法人岩手更生会理事長（当時）でもある細田重憲さんの全面的なご協力をいただくとともに、岩手県社会保障推進協議会並びに岩手県生活と健康を守る会連合会及び盛岡生活と健康を守る会と共催しながら連続公開講座を開くこととしました。

また、今回の講座では、「住み慣れた地域で共に生きる」という趣旨に従い、講演と併せて障がい児（者）福祉の分野で活躍されている方の活動報告や、ご家族からのお話をいただき議論を深めることとしました。

取り上げたテーマは次の5つです。

第1回～第2回は「障害者福祉、その歴史と制度、現状と課題」と題した細田重憲さんによる講演でした。講演では、NHKで制作した映画が放映されるとともに、障がい者福祉を理解するための前提、障がい者福祉の歴史、そして障がい者福祉の制度について説明をいただきました。

第3回は、「障がい者福祉、当事者、関係者の思いと訴え」と題して、3人の方から活動報告をいただきました。一人目は川畑昌子さんです。ご自身が重度身体障がい者であるという立場から「重度障がい者が地域で暮らせる社会づくりを目指して」を、二人目は、藤村ゆみ子さんです。重症心身障がい児（者）の親の立場から「重症心身障がい児（者）の親として、

地域に生きる当事者の思いや願い」を、三人目は、大森 勉さんです。福祉行政を担っている立場から「盛岡市の障害がい者福祉の状況（共生社会の実現を目指して）」を報告していただきました。なお大森さんの報告については、本人の希望により資料のみの掲載とさせていただきます。

第4回は、「知的、精神、発達障害がい者への支援について考える」と題して、3人の方から活動報告をいただきました。一人目は玉山恵理子さんです。知的障害児施設で働いている立場から「知的障害がい者の就労支援、地域生活支援の課題を考える」を、二人目は、山下純子さんです。精神障害者支援施設で働いている立場から「精神の障害がいがあっても、当事者もその家族もあきらめることなく、自分の人生を生きることができます」を、三人目は工藤宏行さんです。障害者総合相談支援施設で働いている立場から「精神の障害がいのあるないよりも、困り感に目を向けて支援を考えていきます」を報告していただきました。

最後の第5回は、第1回目及び第2回目の講師であった細田重憲さんから「障害者福祉、これまでの振り返りと残した課題」と題して講演をいただきました。残された課題として、「災害弱者としての障害者」と「コロナ禍における障害者の暮らしにくさ（差別）について」の二点が説明されました。

第1回目は、2020年3月23日に開催しました。当所の予定では2020年度中に終了の予定でしたが、何度も延期となり、2021年7月5日の開催で終了となりました。新型コロナウイルスの感染状況を見ながらの開催のためこのようになりましたが、無事終わることができ、細田重憲さんはじめ報告者や関係者の皆様方にはこの場をお借りして心から感謝と御礼を申し上げます。

なお、講師及び報告者の皆様方から貴重な資料をいただいておりますが、紙面の関係上掲載することができずお詫び申し上げます。このブックレットの掲載内容と資料は、岩手地域総合研究所のホームページに掲載しておりますので、ホームページをご覧ください。

ホームページ <http://isouken.org/>

いずれの回も、岩手の現実に即した具体的な問題提起がなされており、今後の岩手におけるさらなる障害がい児（者）福祉の推進に生かしていただければと願っております。

なお、本稿は、公開講座での講演に基づき、講演者が加筆、修正等を行ったものです。